

平成20年度のまちづくり ～市政・教育行政執行方針と 予算の概要～



財政調整基金などの調整財源が底をついたなか、財政健全化計画に基づき編成した平成20年度の予算は、対前年度比4・3%減という、これまで以上の緊縮予算となりました。

今後できる限り早期に赤字の解消を図るため、さらなる各種事業の見直しを進めながら、限られた財源の中ではありますが、安全安心で活力あるまちづくりに必要な事業を推進していきます。

そこで今回は、新年度のまちづくりの方針とともに、総額60億8,746万7千円の予算について、その概要をお知らせします。

1 市民と協働で創るまちづくり

- 市民と行政が対等に理解を深めながら地域の課題解決に取り組むため、ポランティア活動など市民の主體的な地域づくり活動を支援するとともに、地域再生に向けた施策に取り組みます。
- 公式ホームページによる情報提供のスピード化に努めるとともに、広報紙と連携し、わかりやすい行政情報の発信に取り組みます。
- 町内会連合会との情報や意見の交換などを定期的に行い、緊密な連携のもと行政情報の提供と地域の情報収集に努め、より一層市民の声を市政に反映するよう努力します。

2 活力と魅力あふれるまちづくり

- 企業誘致活動
- 空知管内自治体や北海道等が共同で設置する地域産業活性化協議会に積極的に参加していきます。
- 本市ならではの地域資源を活かした誘致活動を展開し、新たな手法をさまざまな観点から調査・研究します。
- 関係機関と連携し、北海道産炭地域産業振興方針に基づく事業の推進を図り、産業と雇用の創出に努めます。
- 鉱業、商工業、農林業の振興
- 空知炭礦グループによる露頭炭採掘事業の長期継続を支援します。
- 地域経済情報交換会等を通して商工会



予算総額は60億8,746万7千円

■平成20年度全会計当初予算の対前年度比較表

会計別	20年度当初予算額	19年度当初予算額	増減	伸び率
1. 一般会計	42億6,200万円	44億8,000万円	△2億1,800万円	△4.9%
2. 特別会計	12億290万円	12億4,560万円	△4,270万円	△3.4%
①改良住宅	1億7,530万円	2億1,840万円	△4,310万円	△19.7%
②市営住宅	1億4,880万円	1億5,480万円	△600万円	△3.9%
③公共下水道	4億5,740万円	4億6,010万円	△270万円	△0.6%
④神威岳観光	1億3,820万円	1億9,780万円	△5,960万円	△30.1%
⑤国民健康保険	1億9,090万円	2億890万円	△1,800万円	△8.6%
⑥後期高齢者医療	9,230万円	—	9,230万円	皆増
土地取得	—	560万円	△560万円	皆減
一般・特別会計合計	54億6,490万円	57億2,560万円	△2億6,070万円	△4.6%
3. 病院事業会計	6億2,256万7千円	6億3,524万2千円	△1,267万5千円	△2.0%
全会計の総計	60億8,746万7千円	63億6,084万2千円	△2億7,337万5千円	△4.3%

- 議所と連携し、適切な対応を行います。
- 技術力の向上等に関する情報提供や、新産業創造等事業及び基盤整備事業促進条例に基づく助成事業などの各種制度により地域産業興しを支援します。
- 商工業者に対し、物産展や販路拡大に向けた各種の情報提供を推進します。
- 養蜂事業可能性調査事業の調査結果を踏まえ、引き続き起業化に向けた事業者の募集などPRに努めます。
- **観光事業の推進**
● 歌志内市健康の村施設活性化推進事業計画が順調に展開されるよう、株式会社内振興公社が経営するチロルの湯及びアリーナチロルの経営安定と発展に向け、連携・事業支援を行います。
- **労働行政の推進**
● 道内の雇用情勢は依然厳しい状況にあることから、関係機関と連携し各種支援制度の情報提供を行うとともに、近隣市町と共同で設置した砂川地域通年雇用促進協議会との連携を図ります。
- **定住化の促進**
● 産業の育成等による雇用創出や宅地分譲、さらには公式ホームページや移住・交流推進機構等が行う移住希望者向けのPR事業を活用した情報提供など、人口の定着化に取り組みます。
- **地域間交流の促進**
● 民間団体が実施する各種大会や地域おこしに結びつくイベントを支援するなど、交流人口の拡大に努め、地域の活性化を図ります。



主な事業・予算	
1 市民と協働で創るまちづくり	50万4千円
■ 町内会連合会との行政情報・意見交換会(定期)	
■ 広報広聴活動	145万円
▽ 広報発行事業	
▽ ホームページ制作管理委託料	
2 活力と魅力あふれるまちづくり	89万9千円
■ 企業誘致対策費	
■ 中小企業振興保証融資事業預託金	6,000万円
■ 市営神威岳観光特別会計繰出金	1億3,820万円
■ 健康の村施設活性化推進事業計画支援	48万6千円

3 健康で心ふれあうまちづくり

■高齢者福祉の推進

●地域包括支援センターにおいて総合的・包括的・継続的な支援管理を行い、介護を必要とする状態になっても、できる限り在宅で生活が続けられるよう生活支援の取組を行います。

●介護保険事業計画第3期計画の見直しにあたって、空知中部広域連合を中心に、新たな課題にも対応できる計画の策定に努めます。

●社会福祉協議会によるデイ・サービスセンター管理代行の指定期間が本年度末までであることから、今後の施設運営に向けてこれまでの事業内容などについて検証します。

●在宅福祉サービス事業について、利用者の要望に答えられるよう社会福祉協議会をはじめとする関係諸団体と密接な連携を図りながら、継続実施していきます。

■指定管理者制度の導入促進

●特別養護老人ホームしらかば荘の指定管理者制度導入時期について、(株)ほくやくとの基本方針見直しにより1年先送りした平成21年4月とするともに、指定管理者を一般公募するための必要な手続きを進めます。

●救護施設親愛の家については、予定どおり平成22年4月に指定管理者制度を導入することとし、一般公募により指

定管理者を選定していきます。

■児童福祉の推進

●歌志内市次世代育成支援対策地域行動計画に基づき、各種施策を実施します。特に、幼児保健事業「ひよこスクール」をきっかけに活動を始めた民間交流団体の育成に努めるとともに、よりいっそう育児に関する不安や負担軽減に向け取り組んでいきます。

■障がい者福祉の推進

●第2次歌志内市障がい者福祉計画に基づき、ノーマライゼーションの理念を基本に、障がいのある人が地域で独立し、安全で安心して暮らすことができよう取り組みます。

■保健行政の推進

●市民が健康で明るい生活を送ることができるよう、予防対策事業や健康づくり事業を推進します。特に、介護予防と疾病予防を重点課題とし、関係機関と連携、協力しながら、各種健康診査や訪問指導などを行い、市民の健康維持と増進に努めます。

●乳幼児とその親を対象とした親子教室を通し、子育ての仲間づくりや育児負担の軽減を図ります。さらに妊産婦の健康管理と乳幼児の健やかな成長のため、健康診査をはじめとする各種保健事業を実施します。なお、少子化対策の観点から妊産婦健診助成回数を、2回から5回に増やします。

■市立病院の運営

●固定医師の確保が困難な状況ですが、

関係機関の協力を得ながら、医師3名体制に向け、一層努力します。

●経営面では、外来患者数の減少により厳しい状況にありますが、入院の病床利用率が高い水準で推移していることから、本年度においても恒常的に継続するよう努力します。

●入院患者の受け入れ等について、利用者がおかれている状況に配慮しながら、診療報酬体系を踏まえた効率的な運営による収入の確保に努めます。

●国の公立病院改革ガイドラインの提示を踏まえ、病院経営の効率化等にかかる「公立病院改革プラン」の策定などを行うため、地域医療のあり方について、慎重に対応、検討していきます。

●療養病床について現体制を維持し、安定した医療の提供とともに、経営の健全化に努めます。

■国民健康保険事業の推進

●本年度から医療制度改革の大きな柱である特定健診・特定保健指導が開始されるとともに、75歳以上の被保険者は後期高齢者医療制度に移行します。これら制度の実施にあたり、関係機関とじゅうぶん連携を図りながら万全を期すとともに、事業の安定化と被保険者の健康維持、増進に努めます。

4 快適でやすらぎのあるまちづくり

●道路、公営住宅の整備、下水道事業

主な事業・予算

3 健康で心ふれあうまちづくり

■地域包括支援センター

▽介護予防支援事業(委託料など) 249万3千円

▽包括的支援事業(旅費) 7千円

▽介護予防任意事業(介護用品支給) 10万8千円

■特定高齢者介護予防事業(元気はつらつ教室) 238万9千円

■一般高齢者介護予防事業(出前講座、お父さんの料理学校など) 95万1千円

■指定管理委託料

▽デイサービスセンター(指定管理者は社会福祉協議会) 3,012万8千円

▽養護老人ホーム楽生園(指定管理者は社会福祉法人ほく志会) 1億6,663万4千円

■社会福祉協議会への施設運営等委託

▽シルバーハウジング(神楽岡・東光) 870万3千円

▽食の自立支援(給食宅配サービス) 510万8千円

▽ケアプランセンター 1,368万6千円

■高齢者等生活支援事業

▽除雪経費助成 20万円

▽老人家庭除雪 216万円

▽在宅高齢者支援事業 79万8千円

▽外出支援サービス事業 60万円

道路の定期的な点検を行うとともに、冬期間の降雪状況や沿道の堆雪状況を把握して歩車道の確保に努めます。

●歌神地区における老朽化住宅の除却を実施します。

●計画区域内の全戸数に占める水洗化率は、平成19年12月末現在で85.5%（2,443戸）となりました。本年度も快適性の向上を図るため、未整備住宅への水洗化促進に努めます。

■環境衛生事業の推進

●ごみの減量化と不適正排出物の防止を図るため、啓発活動に努めます。

■消防行政の推進

●住宅用火災警報器の設置をさらに推進するとともに、市民一人ひとりの防火意識の高揚に努め、無火災を目指します。

●高齢化が進む中、救命率向上のため救急隊員の教育研修に努めます。

●北海道消防広域化推進計画に基づき、消防の広域化について検討します。

■防災対策

●市民の生命と財産を守り、かつ災害発生時の被害を最小限にとどめるため、「歌志内市地域防災計画」及び「歌志内市国民保護計画」に基づき土砂災害を想定した防災訓練を実施します。

●電光掲示板付き災害対応型自動販売機を導入し、防災情報を含めた行政・地域情報等を提供します。

■防犯対策

●市民が安全で安心して暮らせるよう、

防犯体制の強化に向け、地域や関係機関との連携・協力を努めます。

■交通安全の推進

●高齢者や児童・生徒に対する安全教育を実施し、交通事故のない安心して暮らせる住みよい社会を目指し、市民総ぐるみで交通安全運動を展開します。

■消費者行政の推進

●消費者の被害防止を図るため、関係機関と連携し、消費者保護に努めます。

5 豊かな心を育む教育と文化のまちづくり

■学校教育推進の重点

①変化に対応できる能力の育成

●身近な自然に学び、地域の文化や伝統を重視し自然や多くの人とのかかわりなど体験を通してのみ培われる、学び続ける意欲と、しなやかで柔軟に対応できる豊かな人間性など「生きる力」を育む教育を推進します。

●統合に向けた両小学校の児童間交流を深めるとともに幼・小・中が連携して参画する地域の活性化を図る諸行事や宿泊体験学習を推進します。

●学校の教育活動など学校運営状況について評価を行い、その結果を公表しながら学校運営等の改善につなげていきます。

●小中学校において情報教育を推進し、環境教育や情報活用能力の育成を図ります。

●国際的な広い視野にたち、外国語指導

助手を引き続き招致し、中学校の語学力向上を図ります。また、幼稚園や小学校へ派遣し総合的な学習の時間に英会話を取り入れるなどのほか、社会教育事業への積極的な活用を図り、国際理解教育の推進に努めます。

②個性を生かす教育の充実

●授業研究や校内研修の充実を図り、豊かな体験学習活動や問題解決のための学習方法を取り入れ、個に応じたきめ細かな指導と評価を工夫するとともに、出番を与え、励まし、自分らしさを発揮させる学習指導を推進します。

●児童生徒の学力・学習状況を的確に把握することなどを目的に「学力・学習状況調査」を実施し、児童生徒一人ひとりの学習改善、学習意欲の向上につなげていきます。

③自立性や耐性を育てる教育の推進

●生命や自然への畏敬などの情操を養い、心身を鍛えることのできる自然体験学習や社会参加の精神を培うボランティア活動等、成就感や達成感の体得をねらいとする実践的諸活動を重視し、学校生活の中で、相互に人格や人権を尊重し、啓発し、協力し合う態度を養う教育活動を推進します。

●家庭や地域との連携を図り「早寝早起き朝ごはん」運動など基本的な生活習慣を適切に身につけさせるとともに、道徳心や自律心、公共の精神を深め、道徳的実践力の伸長を図るため、道徳教育の充実を図ります。

▽訪問理美容サービス事業 3千円
■緊急通報体制等整備事業 103万6千円

■空知中部広域連合負担金 8,312万円

▽介護保険事業 126万6千円

▽障害支援助事業 1億7,924万8千円

▽国民健康保険事業 831万3千円

▽老人保健事業 1億5,945万7千円

■北海道後期高齢者医療広域連合負担金 20万円

■障がい者福祉対策事業 27万6千円

▽福祉タクシー 45万1千円

■特別養護老人ホームしらかば荘居室洗面器新設 1億772万2千円

■救護施設親愛の家ナースコール設置 3483万3千円

■障害者自立支援法（自立支援給付） 1億772万2千円

▽身障者介護・訓練等給付事業 1,239万2千円

▽知的障害者介護・訓練等給付事業 1,099万4千円

▽精神障害者介護・訓練等給付事業 421万5千円

▽児童介護給付事業 1,949万円

■障害者自立支援法（地域生活支援事業） 3,011万8千円

■児童手当 55万9千円

■児童扶養手当 1億6,278万3千円

■妊婦一般健康診査

■病院事業会計繰出金（基準分の一般会計負担）

④健康と安全指導の推進

●豊かな健康知識や意欲を育む学校保健の推進など、安全に関する意識を高め、自ら安全な生活を営む能力を育てる指導計画の工夫をさらに進めます。

●教育活動全体を見通し、交通安全教育や不審者に対する登下校指導を行うとともに、学校安全管理においても、適切かつ確実に指導体制を確立します。

●栄養教諭を直接配置し、子ども達に健康的な食生活を営む習慣を身につけさせるため、給食の時間はもとより、学校教育活動を通して計画的、継続的に食育指導を進めます。

●学校給食は、栄養のバランスを考慮した献立の工夫に努めるとともに、食材の厳選と調理員の衛生知識の向上及び施設の衛生管理を徹底し、より安全・安心な給食を提供します。

■社会教育推進の重点

①生涯各期における社会教育活動の奨励
●幼児期に必要とする、家庭教育に関する情報提供等を行います。

●児童館行事をはじめとする各種教室やスポーツ・レクリエーション活動を実施するほか、地域子ども会や育成者組織の事業などを支援し、青少年に多様な体験や交流の機会を提供します。

●青少年センターを中心に関係機関や団体との連携を図り、子どもの安全確保や非行防止に努めます。

●生活課題や地域課題、現代的課題に基づいた学習機会を提供するとともに、

サークル活動をはじめとする自主的な活動を支援します。

②スポーツ振興の奨励

●各種教室・大会を通じたスポーツの普及や関係団体の育成及び指導者の確保など、市民スポーツ活動を促進します。

③個性豊かな芸術・文化活動の振興

●市民一人ひとりが、趣味や各種活動を通して心豊かな生活を営めるよう、市民の生活に根ざした文化活動を推進します。

④施設の効率的な運営と管理

●公民館と図書館は、経費節減に努めながら効率的な管理運営を行い、市民各層に幅広く利用されるよう、学習機会の提供やサークル活動の活性化に努めます。

●郷土館と旧空知炭鉱倶楽部は、郷土文化の貴重な財産として市民の皆さんの支援とご協力をいただきながら、魅力ある展示や行事に努めるとともに、市の観光資源としても広くPRしていきます。

●効率的な放課後対策事業を目指した児童厚生施設の適正配置について検討します。

6 市政を推進するために

●昨年末に示された財政健全化法による健全化判断基準では、平成20年度決算の実質公債費比率において、早期健全化団体に該当する見込みです。これは

翌年度に解除となりますが、早期の赤字解消と合わせ、「歌志内市財政健全化計画」を確実に実行し、人口規模や業務量に見合った職員配置など組織のスリム化を含め、効率的な行財政運営に取り組んでいきます。

●普通財産とした旧いきがいセンターや旧観光館などの遊休施設や市有地の売却等を進め、歳入の確保に努めます。

●公の施設について、今後も市民サービスの向上と行財政の効率化を図る観点から、民間活力の導入をいっそう進めていきます。

●基本計画の進化管理や予算査定などで活用する行政評価について、評価項目の見直しなど、より実効ある制度を目指し取り組みます。

●中空知広域市町村圏組合による「ふるさと市町村圏基金」事業をはじめ、介護保険等の広域事業に取り組みます。

●電算システム機器の一部更新を行いながら、効率的な住民サービスに努めます。

平成20年度当初予算の概要

平成20年度予算は、財政調整基金などの調整財源が皆無のなか、財政健全化計画を基本に、早期の赤字解消を目指す編成を行いました。

そのため、当初予算総額は、一般会計以下8会計合わせて60億8,746万7

主な事業・予算

4 快適でやさらぎのあるまちづくり

■歌神地区改良住宅建替事業

▽解体除却(4棟20戸)

1,228万5千円

▽その他の経費(人件費含む)

724万8千円

■改良住宅火災警報器設置(4地区165戸)

382万2千円

■公営住宅火災警報器設置(5団地125戸)

234万2千円

■既設改良住宅屋根塗装工事(本町川向1棟6戸)

80万9千円

■公営住宅屋根塗装工事(西歌団地1棟4戸)

76万7千円

■炭鉱不用施設除却

610万円

■中空知広域水道企業団3市1町による統一水道料金ガスタート

▽中空知広域水道企業団負担金

1,216万6千円

▽中空知広域水道企業団出資金

1,413万9千円

■歌志内線代替輸送バス運行経費補償金

250万円

■ごみ分別収集事業

3,328万円

■砂川地区保健衛生組合負担金

6,117万7千円

▽中・北空知地域ごみ処理広域化事業

3,071万5千円

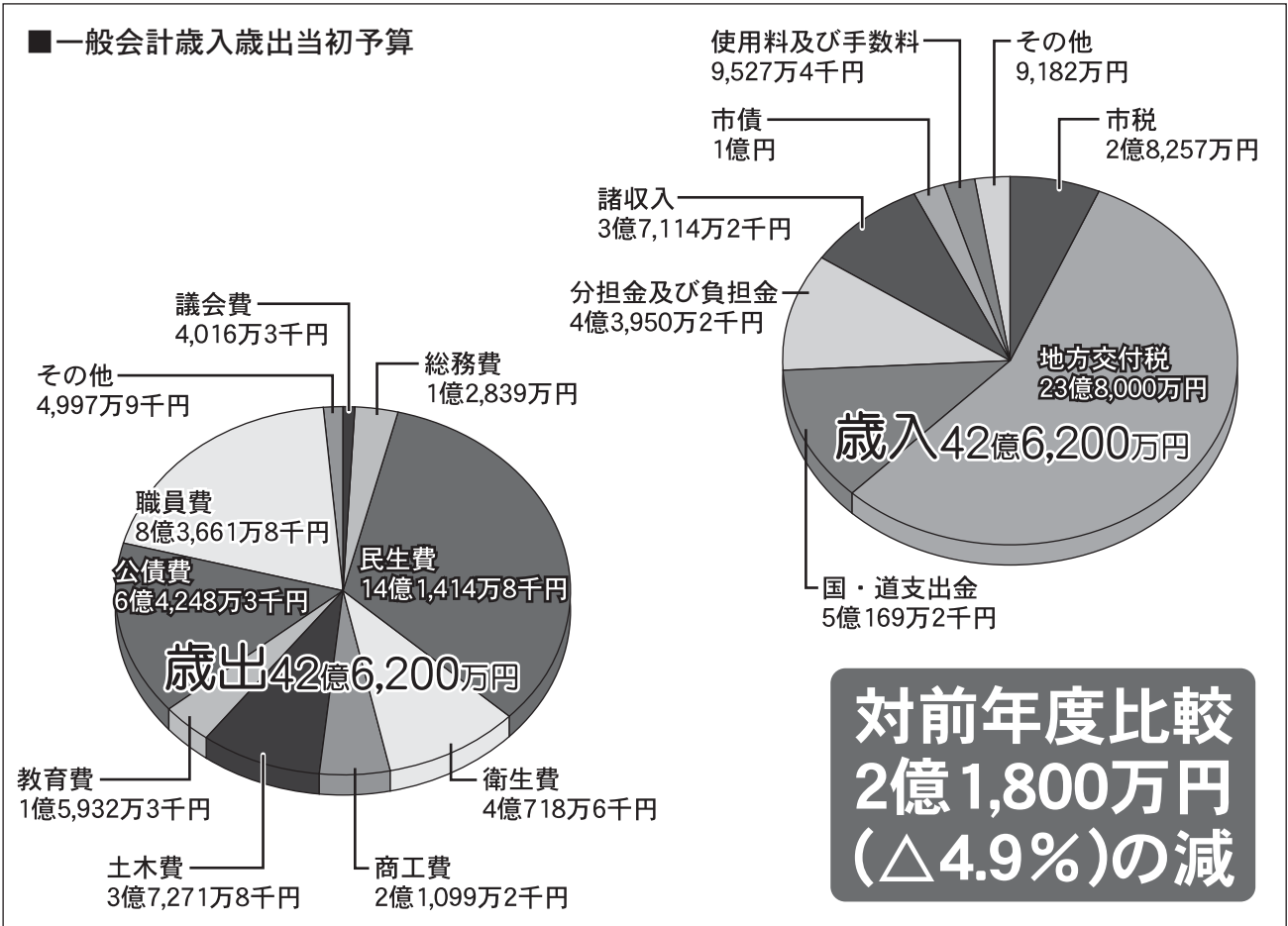
▽火葬場施設共同事業

3,927万8千円

■一般廃棄物最終処分場管理運営事業

3,071万5千円

■ 一般会計歳入歳出当初予算



千円と、前年度当初予算と比較して2億7,337万5千円、4.3%の減額となる緊縮型予算となっております。

昨年末に示された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」における健全化判断基準によると、平成20年度決算では実質公債費比率が25.9%となり、早期健全化団体に該当する見込みであることから、本年度も引き続き投資的経費を抑制することとしました。

なお、この実質公債費比率は、翌21年度決算では早期健全化基準を下回る見込みですが、今後も各種事業の統廃合を進め、効率的な行財政運営に努めながら、人件費の抑制など財政健全化計画の健全化項目を引き続き実施し、確実に赤字額の解消を図ってまいります。

また、(株)歌志内振興公社が経営するチロルの湯については、同公社で計画した「健康の村施設活性化推進事業計画」が順調に展開されるよう、イベントの実施や市主催行事の開催、さらには本市で開催される会議等の会場として利用するなど各種連携を図り、同公社の経営安定と発展に向けた事業支援を行います。

平成18年度決算で生じた約1億6,000万円の赤字額を、早期に解消することが本市の最大課題となっていることから、「歌志内市財政健全化計画」の確実な実行による行政経費の節減を継続し、この財政危機を乗り越えて行きますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- し尿処理一般経費 6,991万4千円
- 共同浴場組合補助金(中村) 152万円
- 救急資機材の整備(二相性半自動体外式除細動器機器の債務負担) 62万1千円
- 中空知分会連合消防演習 113万4千円
- 豊かな心を育む教育と文化のまちづくり
 - 父母負担軽減のための小・中学校補助教材費の充実
 - ▽小学校教材費(7,000円のうち4,500円を市で負担) 70万7千円
 - ▽中学校教材費(16,000円のうち4,850円を市で負担) 50万5千円
 - 遠距離通学費補助(低学年児童のみ対象) 9万5千円
 - 外国青年招致事業(外国語指導助手) 401万3千円
 - 中学校パソコン設備整備(債務負担) 140万円
- 6 効率的な市政を推進するために
 - O A 化推進事業
 - ▽電算システムソフト保守委託(住民情報システム及び財務会計システム) 353万9千円
 - ▽電算機借上料(財務会計システム) 330万8千円